
よく切れるナイフ

聖闘士

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

よく切れるナイフ

【Nコード】

N3977J

【作者名】

聖闘士

【あらすじ】

俺のポケットには、いつもナイフが入っている

——俺の服のポケットには、ナイフが入っている。

別に誰かを傷つけるつもりはない。そんなことをすれば、警察に捕まるのは分かりきっているからだ。俺はそこまで馬鹿ではない。

俺がコイツを肌身離さず持ち歩いている理由は——

——想像の中で、ム力つく奴らをギタギタに切り刻んでやるためだ

・ 今の世の中、ム力つく奴らが多すぎる。法律なんていうクソみたいなモノが存在しなければ、そんな奴らは俺が切り刻んでやるのに・

だが現実としてそんなことは出来ないから、俺は空想の中で、ム力

つく奴らの顔をこのナイフで切り裂くだけにとどめておいてやっているのだ。

——俺に馴れ馴れしく話しかけてくる金髪のチャラチャラ男には、そのご自慢の金髪をナイフで全部切り取ってやって、二度としゃべれないように舌も切り取ってやった

——高校生のクセに耳でピアスが派手に光っている騒音女には、二度とピアスなんかつけられないように、両耳とも切り落として口の中に突っ込んでやった

——俺が目をつけていた優等生の美人と付き合い始めた、爽やかスポーツ系のイケメン野郎には、憎たらしいそのイケメンを失敗した福笑いみたいな面にしてやった

もちろん、全ては俺の想像の中の出来事なので、現実では奴らはピンピンしている。

なので俺の方も、毎回毎回奴らの顔を見かける度に切り刻まなければならず、いい加減消えれば良いのに、と思う。

「おや、こんな所で何をしているのかな？」

・・・ほら、すぐにこれだ。背後から俺に話しかけてきたクソじじいはこの学校の校長で、俺のやることなすこと、全てに口を出してくるストーカー野郎だ。

・・・まあ良い、いつもと同じようにギタギタに切り刻んでやるまでだ。

——俺は振り向きざまナイフを抜き、クソじじいの左目に突き出してやった。ナイフは眼球の表面を滑り、ぬぷりという感触がして、目元の方へと突き刺さった。

「ギィアアアアアッツツツツ！！！！！！」

——醜い悲鳴が辺りに響き渡った。さっきのナイフを刺した感触といい、今の悲鳴といい、やけにリアルに感じられる。今日の空想は絶好調みたいだ。

ただ、悲鳴があまりにもうるさいので、目元からナイフを抜き取り、今度はあごからナイフで突き刺し、舌ごと口の中まで貫いてやった。

悲鳴はもはや、「ケハッ」という空気の漏れる音にしか過ぎなくなり、白目を剥き出した奴の体は俺の方へと倒れかけてきた。

いくら空想の中とはいえ男に抱きつかれて喜ぶ趣味はないので、倒れかけてきた奴の体を横にかわすと、奴の体はうつ伏せで倒れ込み、時折ビクンと痙攣するだけになった。

俺は奴の体を仰向けに起こしてあごからナイフを抜き取ると、以前から気に入らなかった、奴の鼻を切り落とすべくナイフを構え直した。

——すると、いきなり俺の腕ががちりと掴まれた。そう思った
ら次の瞬間、俺の顔は床へと叩きつけられていた。

・・・イテエッ!!!

誰だ、今やりやがったのはっ！

俺の楽しみの邪魔をするんじゃないやねえっ！

次は貴様を切り刻んでやるぞっ!!!!

『——次のニュースです。今日の午前九時頃、東京都内の公立高校で、男性教諭が同校の校長をナイフで滅多刺しにするといい事件が発生しました。事件を起こした男性教諭は、通報を受けて駆けつけた警察官に取り押さえられ、直ちに傷害の現行犯で逮捕されましたが、校長の方は意識不明の重体です。警察の発表によりますと、問題の男性教諭は警察の取り調べに対して意味不明な供述を繰り返しているとのことで、警察は男性教諭の精神鑑定を専門家に依頼すると同時に、事件直前の事実関係について、捜査を進めています』

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3977j/>

よく切れるナイフ

2010年12月14日19時18分発行